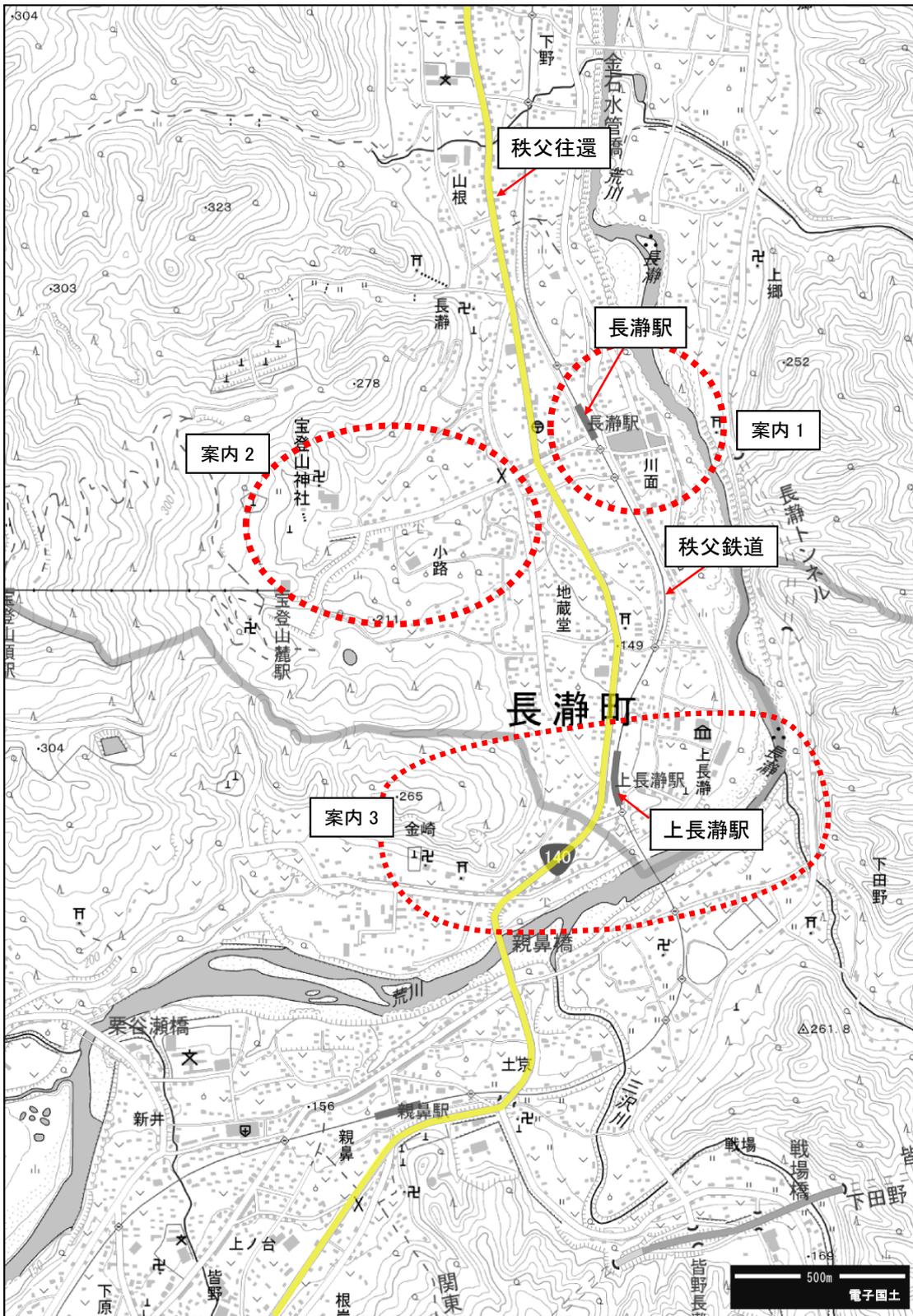


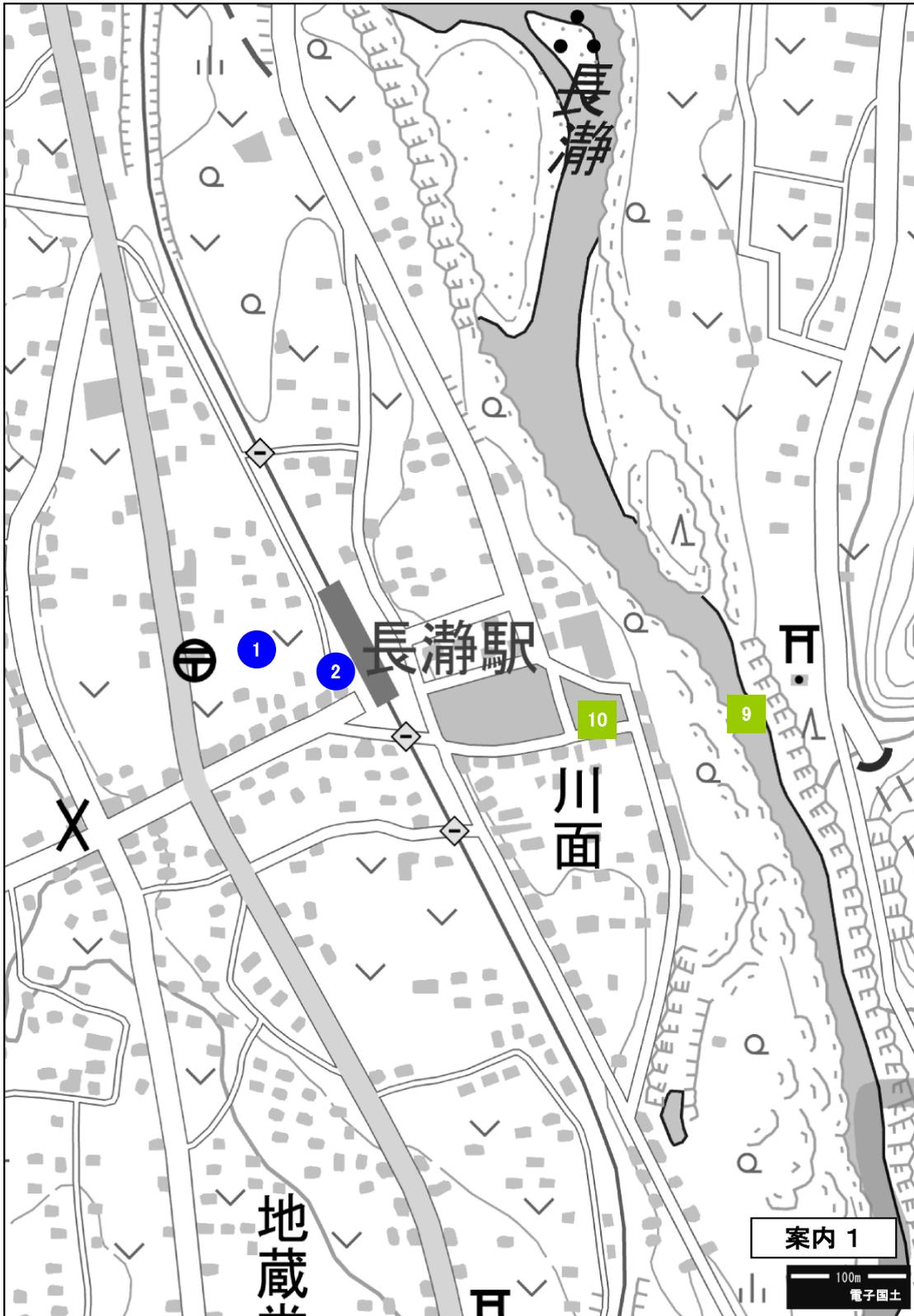
# 長瀨



案内図

 調査範囲

長瀬



凡例



史跡・寺社等

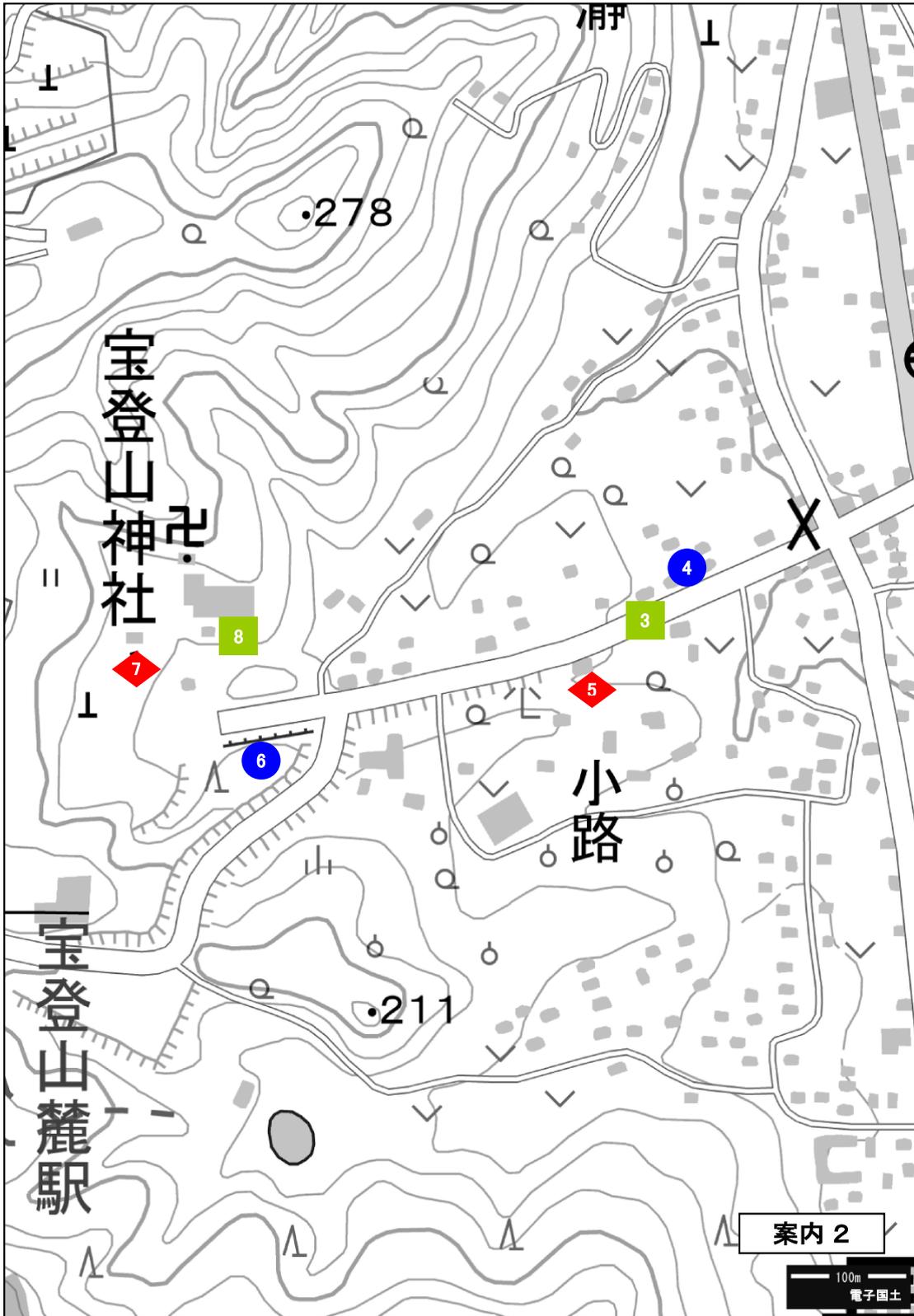


その他の建造物



通り・広場・樹木他

長瀨



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

長瀨



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

## 長瀬



### 長瀬岩畳

『瀬』とは、水がゆっくりと流れる様をいう。その名の通り長瀬のこの地域だけ、荒ぶる川が見た目には湖のように静かである。川岸の岩畳は、一枚の岩が隆起してできたもので、その切り立った断面から見える地層はこの地の歴史を垣間見ることができることから、地球の窓ともいわれている。宝登山の信仰により古くから栄えた長瀬は、参道やその周辺に多くの商店が立ち並ぶ。古式然とした色味を抑えた佇まいになっており、町の方々の景観への意識の高さをうかがわせ（写真は荒川岩畳）

1

### 駅前観光案内所



駅に隣接する(社)長瀬町観光協会事務局では、『長瀬電動旅チャリ』を打ち出し、レンタサイクルサービスを行っている。

2

### 長瀬駅



関東の駅100選にも選定された寄棟の赤いとんがり屋根がトレードマークの木造駅舎。構内もレトロで、さながらタイムトリップしたよう。

3

### 参道



大鳥居をぬけて勾配のある参道へ入ると、通りの左右にカフェや土産物屋が立ち並ぶ。その多くが古くからの風情を大切にしながら色味を抑えた造りになっている。新しい様相の何軒かはアーティスティックなファサードながらも景観と絶妙に融合している。

4

### 店舗



白い階段のカフェ。隠れ家のように植栽に埋もれて建つ平屋の建物はとても印象的。入ってみたい衝動を覚える魅力のファサード。

5

### 旧新井家住宅



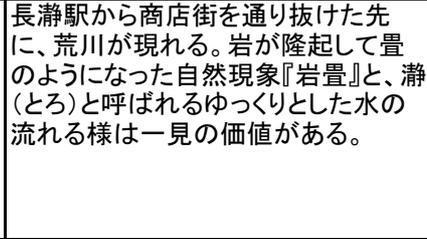
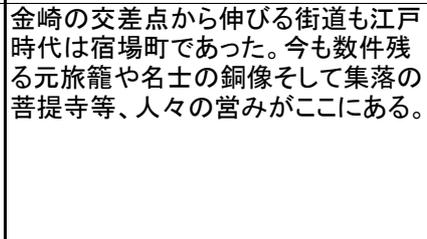
長瀬町郷土資料館に隣接する、200年以上を経た民家。江戸時代から代々名士を務めたという新井家の住宅を移築復元したもので、町営郷土資料館の一部として内部も公開されている。築造は江戸時代の中期と推定され、栗板に石を置いた屋根が特徴。国指定の重要文化財。

6

### 店舗



参道を登りきった境内にあるお休み処は、味噌で知られる山武の直営。ここのお店限定の山武の味噌だれを使った黄金だんごは、長瀬を訪れたら山武の麴で作った甘酒と一緒に一度は味わっておきたい名物。

7	宝登山神社	8	灯笼			9	長瀬岩畳	
<p>大和武尊が山頂に神々を祀ったのが始まりとされる、霊験あらたかな神社。改修工事が完了した壮麗な本殿の彫刻は美しい。秩父三大神社揃い踏みで改修され、極彩色の装飾が施されている。他の二社の絢爛な装いに比べ、白を基調とした優美な姿が特徴。</p>		<p>重なった岩が奇妙な造形美をかもし、灯笼は水泉寺の山門の裏にある。</p>		<p>長瀬駅から商店街を通り抜けた先に、荒川が現れる。岩が隆起して畳のようになった自然現象『岩畳』と、瀬(とろ)と呼ばれるゆっくりとした水の流れる様は一見の価値がある。</p>				
10	岩畳までの商店街	11	川と桜並木			12	江戸時代は宿場	
<p>長瀬駅から荒川の『岩畳』のあるスポットへ誘う道は、お土産物店や食事処、宿屋等が軒を連ねる商店街。美味しそうなお豆屋さんやお漬物屋さんへは、ふわり足が向きお店の方の接客の温かさに心も和む。</p>		<p>岩畳を望む土手は桜並木が続き、川と桜が競演する様は格別である。</p>		<p>金崎の交差点から伸びる街道も江戸時代は宿場町であった。今も数件残る元旅籠や名士の銅像そして集落の菩提寺等、人々の営みがここにある。</p>				
13	上長瀬駅							
<p>レトロな駅舎に懐かしさを覚える。反対ホームの待合所に行くには線路を越えなければならないので注意。</p>								